

京都大学病院を受診される患者さんへ

研究の名称：搬送接続型血液自動分析システムによる体液・血液分析評価に関する研究

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

研究の目的・意義：顕微鏡を用いて人の目で血液や骨髄液中の細胞を観察して細かく分類する検査(目視検査)は、感染症や悪性腫瘍など様々な疾患の診断に不可欠です。しかし、この検査方法は作業が煩雑である上に、観察を担当する人によって結果が変わる可能性があります。最近、人の目に代わって細胞の数や形態を自動的に分析する装置が開発されました。本研究では、この自動血液像分析装置にAI解析技術などを応用して、より正確で迅速、簡便な検査法を開発することを目指します。

研究実施期間：倫理委員会承認日から2024年3月31日

対象となる試料・情報の取得期間：2020年12月1日から2023年12月31日の間に、京都大学医学部附属病院検査部において血液像と骨髄像の目視検査を行った患者さんが対象です。

試料・情報の利用目的・利用方法：AI解析技術などを応用した自動血液像分析技術の性能を目視検査と比較し、その有用性を評価します。

利用または提供する試料・情報の項目：目視検査が終了した試料とCRP、AST、ALT、LDH、BUN、Cre、T.Chol、TG、TP、Alb、プロカルシトニン、ウイルス抗体価、細菌培養、骨髄細胞数・分画、血球表面抗原の値と臨床診断名を匿名化して順天堂大学にて解析します。用いる試料は個人を識別できないよう匿名化して扱いますので、結果に対して個人情報に関係することはなく、個人が特定されるような情報を一切公開することはありません。患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。また、患者さんの求めに応じて、試料・情報の使用を停止します。この研究についてご質問がある場合は下記連絡先までご相談ください。ご協力のほどよろしくお願い致します。

研究資金・利益相反

本学で使用する研究費は、順天堂大学より分配される研究費です。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査・管理しています。

当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

京都大学医学部附属病院 検査部 部長 長尾 美紀
順天堂大学 次世代血液検査医学講座 教授 田部陽子
国立がん研究センター 臨床検査科 科長 松下弘道

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

京都大学医学部附属病院 検査部 中西加代子

1) 研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部附属病院 検査部 中西 加代子

(Tel) 075-751-3482

2) 京都大学の相談等窓口

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp